

■引用文献

- 柏木恵子・高橋恵子 2003 心理学とジェンダー 学習と研究のために 有斐閣
国立社会保障・人口問題研究所 2002
平成17年度国民生活白書 2005
山田昌弘 2001 家族というリスク 勁草書房

表1-1. 調査協力者のプロフィール1

協力者No.	年齢	学歴	仕事	妻の年齢	子ども	同居家族	結婚継続年数	妻の就業	居住	本人の兄弟数	実家の援助
既婚子あり1	34	大学	公務員		4歳, 1歳2ヶ月	妻・子2	7	専業主婦	新宿区	4	
既婚子あり2	29	大学	会社員	27	9ヶ月	妻・子	4	専業主婦	中野区	2	
既婚子あり3	28	大学院	公務員	28	5ヶ月	妻・子	3	専業主婦	小金井市	3	
既婚子あり4	31	大学中退	主夫	29	3歳	妻・子	2	公務員		2	
既婚子あり5	35	大学院	会社員	34	1歳	妻・子	9	専業主婦	八王子	3	×
既婚子あり6	36	大学中退	飲食店店長	34	5歳	妻・子	6	パート (子どもが生まれた 当時はフルタイム)	中野市	2	×
既婚子あり7	25	高校	介護施設	25	2歳	妻・子	4	金融事務	長野市	2	○
既婚子あり8	30	大学	公務員	29	3歳	妻・子	4	専業主婦	小川村	3	
既婚子あり9	29	短大	自営飲食店	28	2歳	妻・子	3	家業手伝い	穂高町	2	○
既婚子あり10	27	専門	自営建築業	27	8ヵ月	8人	1	専業主婦	飯山市	4	○
既婚子あり11	30	高校	自営美容業	43	8ヵ月	妻・子・両親	1	洋服店店長	坂城町	2	○
既婚子あり12	28	高校	飲食店調理師	31	2歳	妻・子		専業主婦	長野市	2	○
既婚子あり13	34	大学	自営小売店	27	2歳	妻・子	4	家業手伝い (学年前まで専業主婦)	長野市	3	○
既婚子あり14	36	大学院	会社員		2人	妻・子・両親	9	学校事務	長野市	2	○
既婚子あり15	33	大学	公務員	30	2人	妻・子		パート	長野市	2	×
既婚子あり16	33	高校	会社員	32	2人	妻・子		パート	長野市	2	○
既婚子あり17	27	大学	高校教諭	27	9ヵ月	妻・子		専業主婦	飯山市	3	○
既婚子あり18	30		会社員	30	1歳	妻・子		専業主婦	中野市	2	○
既婚子なし1	41	大学	公務員	39	なし	妻	15	公務員	習志野市	2	
既婚子なし2	39	高校	公務員	39	なし	妻	12	公務員	千葉市	3	
既婚子なし3	37	大学	公務員	36	なし	妻	9	保母	八千代市	2	
既婚子なし4	36	大学	会社員	35	なし	妻		パート	町田市	1	たぶん○
既婚子なし5	28	高校	会社員	28	なし	妻	4	看護婦	中野市	2	○
既婚子なし6	29	専門	自営建築業	27	なし	妻	2	専業主婦	長野市	2	○
既婚子なし7	30	高校	会社員	24	なし	妻	4	洋服店店員	長野市	2	○
既婚子なし8	33	専門	会社員	29	なし(妊娠中)	妻	1	ピアノ教師	長野市	3	○
既婚子なし9	34	大学	プロスキーヤー	35	なし	妻・妻の母・妻の祖父	1	保母	山ノ内町	3	○
既婚子なし10	29	専門	飲食店調理師	27	なし	妻	1	専業主婦	長野市	3	○
既婚子なし11	31	大学	会社員	31	なし	妻	4	パート	長野市	2	×
既婚子なし12	32	大学	公務員	36	なし	妻	2	専業主婦	船橋市	3	○

表1-2. 調査協力者のプロフィール2

協力者No.	理想の子の数	理由	実際の子の数	理由	性別の希望	育休について
既婚者あり1	3		2		男2女1	所得補填がなければ無理
既婚者あり2	2		もしかしたら1人	経済的な理由	男女各1	前例がないから取らない
既婚者あり3	3	一人っ子はかわいそう	2		男女とも	現実的に制度は使えない
既婚者あり4	2? 3		2	経済的な理由		
既婚者あり5	3? 4		2	年齢的に	なし	4W 給与保障があれば
既婚者あり6	2		不確定			妻が働いていればとってほしい
既婚者あり7	2	男女ひとりずつ	不確定			女の人が育てた方がいい
既婚者あり8	2? 3	男女ともほしい	不確定		男女とも	社会で徹底しだせばとりたい
既婚者あり9	3	多いと楽しい	3			
既婚者あり10	2? 3	4人はうるさすぎる	2? 3			
既婚者あり11	2	きょうだいは多い方がいい	1	妻の仕事や身体		
既婚者あり12	3					育休後の復帰が難しい仕事なのでとらない
既婚者あり13	3	家庭がにぎやか	3		男の子が生まれるまでは	
既婚者あり14	3	女の子がほしい				有給で十分
既婚者あり15	3	女の子がほしい				家にいる時間が長いので育休は必要ない
既婚者あり16	2		2	2人で十分		取りづらいうるか、あり得ない
既婚者あり17	3	2人だとさびしい	2	妻は子どもが一人でも大変そう		迷惑をかけるので休めない
既婚者あり18	3	多い方がいいが金銭的に3人まで	2	ひとまず2人いればいい		仕事が好きだから、考えられない
既婚者なし1	0	欲しいと思ったことがない				育児は女の人でするものだからとらない
既婚者なし2	2				男女各1	とるなら妻でしょう
既婚者なし3	不確定	できたらできたでそれもいい				お母さんが見るのが一番
既婚者なし4	不確定	人数に希望はないがほしい	2	経済的な理由		とったらその職場にはいられない
既婚者なし5	2	3人以上だと子どもがかわいそう	2? 3	4人以上だと経済的に大変そう	男女各1	会社の雰囲気によらずにとりたい
既婚者なし6	2	きょうだいがいれば方がいい	2		男二人	
既婚者なし7	2	ひとりっちはよくない、経済的に2人	2	経済的な理由	男女とも	制度があるならとりたい
既婚者なし8	2	ひとりではわがままになる	2	男女ひとりずつ、経済的に2人	男女各1	所得の補償があればとりたい
既婚者なし9	2	3人は親がつらい	2	妻の年齢	男女各1	
既婚者なし10	2	ひとりっ子はさびしい	1? 2			長期は無理だし、希望しない
既婚者なし11	2	きょうだいがいれば方がいい	2	経済的な理由		会社に迷惑がかかるのでとらない
既婚者なし12	3		1	妻の年齢		使った人を聞いたことがない

既婚男性インタビュー要約

<既婚子あり 1, 34 歳, 東京都新宿区, 公務員>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

子どもができる前は、何人欲しいねっていう理想はお互い話し合ったことはあるんですけど。(そのときは二人とも) 3人です。

女の子、男の子、両方そろったんで、現実的にはこれで終わりだろうなというふうに今妻とも話しています。

今は、2人でいいかなってお互いの合意をしています。

■ 子どもの数

理想の子どもの数は、私は3人ですね。

本当はもう1人男の子。でも、現実には多分これ(二人)で打ち止めだろうと。

教育にかかる費用とかそういうのを考えると、2人に資源を投資したほうがいいのかなど。

■ 子育て観

上の娘は(5歳で)幼稚園に入れて、下の息子はとりあえず3歳になる年までは家で育てて、それから幼稚園に通うという感じですね

3歳になるまではちゃんと母親と一緒にいてあげて育ててくれたほうが安心だなという気持ちは持っています。

■ 育児へのかかわり

実際問題、仕事から帰ってきたら子どもが寝てるとか。

できるだけ土日は可能な限り接しようとは思っています。

ミルクをあげたりとか。おむつかえとかですね。

■ 家事へのかかわり

家事はないですね。

■ 育児休業について

制度があると思います。その制度自体を使うかどうかって言われると、やはり使わないと思います。

休業中の所得の補てんってないじゃないですか。だから、片方だけで働いている場合は、現実的にそれはもう無理。

■ 妻の社会復帰

子育ての期間は（妻が）多少家事に専念する、育児に専念するというか、そういうことはお互いで話し合ったことがあります。

行く行くは家庭に入って、家事もこなしながら仕事も家でやりたいというのが彼女の希望です。

■ 周囲の子どもの数

うちの同級生は3人が何人かいます。

3人いる方っていうのは、やっぱり就職した時期ぐらいに結婚している人とか、やっぱり20代の前半で結婚した人はもう3人いますよ。

沖縄は結構3人くらいが多いんです。ただ、僕らの年代ぐらいになってくるとやっぱり経済的な負担とかがネックになって、本当は理想は3人なんだけど、男の子と女の子がそれぞれ2人いたらそこでやめとこうかという友人もやっぱり多いですね

■ 子育てのポジティブな面

子どもに接している、愛情をかけてる自分が安らいでいるというのは、やっぱりあるんじゃないですか。

■ 教育観

教育に関してはほぼ妻のほうに頼っている感じです。

■ 育児環境

地元にいるときは、たまに子どもを預けたりとか面倒を見てもらったりとか、経済的な支援とか、たまに子どものお小遣いをもらったりとか、東京に来てからはほとんどないです。

■ その他

いいことだと思います、父親も積極的に参加するというのは。小っちゃいころから子どもに愛情をかけていくことが、将来の非行とか……。

<既婚子あり 2, 29 歳, 東京中野区, 会社員>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

結婚する前はやっぱり 2 人って言ってましたね。2 人欲しいね、男、女。

(二人目については) まだ真剣じゃないけどね。けど、ちょっとギャグベースで、欲しいよなみたいなことを、にやにやしながら。

■ 子どもの数

理想の子どもの数は、今だと 2 人かな。

もう 1 人欲しいなら女の子ですね。

2 人欲しいけど、もしかしたらこのまま 1 人で行くかもしれませんね。それは、経済的な理由も結構あるかなと。

1 人を大学まで育てるには本当に何千万とかかかりますよね。それを 2 人にしたらこんな大変なんだというのを考えると、ちょっとしり込みしてしまうところがあるけど、でも 2 人欲しいな。

1 人っ子の子というのは、すごい構われる反面、甘やかされたり思いやりがない人がいたりするので、年にとって思うんですけど、やっぱりきょうだいっていいなと。

(教育費が安ければ) そうしたらもう 3 人 4 人でもいいかなと思いますけどね。

東京とか大阪だったら居住空間が保てないから、3 人だと絶対一人一人には部屋与えられないから、それはかわいそうかなという気がするんです。

■ 子育て観

(保育園に入るのは) 4~5 歳かな。(小っちゃいころは) やっぱりしっかり家で育てて子どもも成長して、そろそろ集団生活に参加する、保育園に参加することで子どものいい成長につながるのであれば、早い段階で保育園に入れるのがいいかなと思うんですけど、親が働きたいから、嫁さんが働きたいから行かすという発想には多分ならないかな。

■ 育児へのかかわり

僕の主な仕事は、お風呂を入れる

子育ては楽しいんですけど、マン・ツー・マンになった場合にかなりしんどいなというのが会社から帰って家にいるときは、子どもが寝るまで、泣いたりしたら、ある程度順番で

■ 家事へのかかわり

土日のうちどっちは、(夕食のしたくを) 共同でやるか、僕がやるか。

■ 育児休業について

多分こういう制度はあると思うんですけど、そういう制度を使った人がいない、前例がないために、僕も進んで使おうとは思わない

(とるとしても) 1カ月ぐらいはいいかなと思いますけど、2カ月3カ月は実際問題あり得ないんじゃないかと。

1カ月休めるとかじゃなくて、勤務時間圧縮。それだったら十分できると思う。

(給料が) 8割もらえたら休んでもいいかなと思います。

■ 会社の雰囲気

絶対に育児休業を使えと会社が命令しないとだれも使わないし、あと、みんながとらないのに自分でこういうのをとったら、周りから見たら、本当に社会的なことを考えない自己中心的な人間としかとらえられないと思うんです。

■ 妻の社会復帰

保育園に入るぐらいまでは子育てということで育児に専念すると思うんですけど、多分嫁さんも仕事したいだろうし、家計も逼迫するだろうから、進んで「働きに行け」と言いますけどね

■ 周囲の子どもの数

子どもは3人なんてほとんどいないですよ。大阪はいないんじゃないかな。

■ 子育てのポジティブな面

大変ながらも、子育てで癒されています。

■ 教育観

やっぱり大学までは出てほしい。

3歳とか大きくなったら週末とか時間があれば僕ベースで遊ばせて、スポーツをしながら人間関係とか社会の一員としての……。

自分が親にあまり遊んでもらっていない意識があつて。だから、ある程度マン・ツー・マンで構いたいかな。それは生きがいかもしれないですね、仕事以外の。

■ 育児環境

母親のほうは家が埼玉なんで2週間に1回ぐらい来ているんな食材を置いていったりお金

を置いていたりとかですけど、世話をしたりとかは特にはしてないかな。

■ 理想の子どもがもてない理由

経済的、もうめっちゃ経済。

■ 行政へ望むこと

子どもがいっぱいいる家庭には経済的な負担を軽くするですか、子どもたちが遊べるような公共空間みたいなものが充実していけば。

■ その他

育児に参加していいところだけじゃなくて大変なところとかを知れば、自分の子どもに対する愛情は深くなるし、決して悪いことじゃない。自分にとっても、子どもにとっても、小さいころから父親が参加するというのは、愛情をかける意味でも、家族にとっても非常にいいことだと思います。

<既婚子あり 3, 28 歳, 東京都小金井市, 公務員>

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

嫁とちょっと話したときに出てきたのが、2人じゃないかと。その理由は、2人とも共通しているのは、1人っ子はかわいそうだと。

■ 子どもの数

理想の子どもの数は3人ですね。自分が上に兄がいて下に妹がいるという2人1人の3人きょうだいなんで

実際の子どもの数の予測は2人になるかもしれない

3人目といったときに、経済的に厳しいんじゃないのという

3年おきだと（妻の年齢が）32、35となってくるとちょっとしんどいんじゃないのというのも少し考えているような感じなので

ただ、（両親は子ども3人とも大学は東京に出してくれたので）経済的に苦しくなってもできんことはないだろうと。そういうがあるので、個人的には、まあ何とかなるだろうという楽観的なあれで3人が理想という感じですね。

■ 育児へのかかわり

可能な限り手伝えるところは手伝いたいなという感じです。

お風呂は毎日。

たまにそのときに絵本を読んだりとか、

■ 家事へのかかわり

（休日）昼ご飯ぐらいだったらたまにつくったりとか。

朝ご飯は（毎日）つくっています。

ほかは、風呂掃除をたまに、

あとは買い物ぐらいですかね。休みの日に

■ 育児休業について

使うかという和多分使わないです。

現実問題使えないというのがまずあって、そこを無理して使うほどのことはしないつもりだということなんです。

（時短も）厳しいと思います。ただ、短くするレベルが、8時に帰りますとか10時には帰らせていただきますというほうだったらできるかもしれない。

■ 会社の雰囲気

使った人は、聞いたことはあります。Ⅱ種職員で組合バリバリ系の人です。

■ 妻の社会復帰

恐らく働かない、よほど家計が逼迫しない限り

自分で「子育てに専念する」という宣言が出ちゃっています

■ 周囲の子どもの数

嫁の妹さんも1人子どもが生まれて1歳ちょっとになっているはずなんですけども、もう「もう1人欲しい」と言っていると。うちの兄貴が1人子どもが生まれて、何となく、ただ、これ1人で終わるって感じじゃなさそう。

今の官舎で、隣の人が3人男の子がいるとか、ようやく奥さんに1人目が妊娠したとか2人目が生まれたとか、結構周りで子どもが多いような環境にはいます。

公務員で、安定して、早くから結婚しちゃった人というのは、家賃もほとんどかかなくてすし、結構ポコポコポコッと産んじゃっている

■ 教育観

3歳から幼稚園に行くだろうと

■ その他

大学ですね。ヨーロッパみたいに大学が基本的にただで、18歳までは育てるけどその先は自分で何とかしろみたいなので、例えば田舎からでも、生活費の最低限の仕送りだけでほとんど行けるぐらいまでいっておけば、何人いてもそんなに。

<既婚子あり 4, 31歳, 東京, 主夫>

■ 子どもを持つタイミング

あんまりほんとは年を離したくなかったというのもあるみたいで。上の子と下の子で。だから1人目と2人目の間の年を離したくない。

最近はちょっと開き直って、離れているきょうだいでもいいんじゃないのって。

■ 子どもを持つことについての夫婦での話し合い

(二人目が欲しいと妻も) それは言ってる。うちの奥さんのほうがそれは強いね。うちの奥さん一人っ子だったから。

(そのような話は) よくではないけど、たまにはするね。

■ 子どもの数

もう1人ぐらい欲しいなと思いますね。2人から3人。ただ、経済的なことを考えると2人。

子どもが1人だとかわいそうというのがあるわね。

■ 子育て観

生まれてすぐのときはね、男性より女性のほうがいいとおれは思うね。

(男性は) おっぱいをあげられないから。そのほうが免疫強化とかあるというじゃない。できるなら女性がやったほうがいいんじゃないかな。

それ以外は別はない。

(子育ての意味は) 人生のアクセントだね。アクセントというか、経験だよ。いい経験になったと思う。

■ 育児へのかかわり

おふろは交代だったけど、割とおれがやってたかな。

■ 家事へのかかわり

飯はおれがつくって、完全に主夫状態。食、住はおれがやる。

■ 育児休業について

(子どもが生まれてから自分は会社を辞めたが) その会社に残りたいと思ったら育児休暇制度を使ってたよね。

■ 本人の社会復帰

最初は1年にしようと思っていたのが、ずるずると2年間になっちゃったんだよね。もうこのままいくと逆に社会復帰できないんじゃないかっていう不安感も大きくなってきた。

■ 子育てのポジティブな面

やってよかったと思うよ。というのは……社会の普通のああいう生活にいたのではわからないどろどろした子育てに対するものがわかった。

自分の子ども時代を思い出す余裕が……、余裕というか、思い出しながらでないといけないわね。

家族の役割とか、子育ての中で子どもに対する、どう言ったらいいんだろうな、家庭の役割っていうの？家庭というものの役割を考える機会が多かったな。社会に対する家庭。家の中を守っていくという仕事。要するにうちの奥さんを何とか守り立てて仕事をやらしてもらわないと困るわけじゃん。そういうのをやりつつ、子どもは何とか真っすぐ生きてほしいわけじゃん。そういうので行くというので。そういう家の中でのバランス調整というか。

(子育ては) 楽しいと思うこともある。

子どもは自分の思いどおりにはいかないからね。思いどおりにいかないときにはやっぱりストレスになるからね。

やる気さえあるならぜひやってみたら。男も女も。おもしろいよ。

人として大きなプラスになると思うよ。

■ 教育観

(小学校はゆとり教育で) 勉強してないっていうふうに言われてるじゃない。そうするとやっぱり塾に行かせる必要があるのかなとか。そういうの行かせたり……。中学、高校で塾とかに行かせるとお金かかるよね。

塾は行かせざるを得ないんだろうね、今の世の中。やっぱり人並みにはしないといかんなどは思っているから。

遅れてほしくはないな。別に勝てとは思わんけれども、人に追いつくだけの学力はつけさせてやりたいと思ってるし、やりたいと言ったらそれなりのお金は出してやりたいと思う。

(お稽古事を) 何かやりたいって言ったらやらせてやりたいよ、やっぱり。

(保育園に行かせて)よかった。子どもが社会の中でというかな、子どもの社会の中での時間ができるから。

保育園というところはうちは3歳から入れたけれども、もうちょっと早くからいいと言う人もいる。逆に0歳児とかで入れちゃうのはどうかなって、やっぱり思った。0歳、1歳何かまだ親の手元に置いておく時期なんじゃないかって。

■ その他

主夫ねえ、別に仕事自体はどうってことはないんだけど、友達がなかなかできないのが大変ね。

まあ女性がやらなきゃいけないというふうにおれはこだわるつもりはないんだけど、例えば子育てとほかの仕事を両立させるという。例えばお父さんが仕事でお母さんが子育てという分業もありだと思うし、2人で双方が仕事と子育てを時間を分けてやるわけですね。そういうことができればそれはそれで幸せだと思う。奥さんだけがやればいいという考え方は、おれは反対だけど。

<既婚子あり 5, 35 歳, 東京都八王子市, 会社員>

■子どもを持つタイミング

前は彼女のほうが欲しいって言うてできたんだけど、でも今回は僕のほうが急に欲しくなっちゃって。きっかけは何だかよくわからないんだけど、周りの子どもを見てかわいいとかそういうふうに思ったというよりは、何か急に欲しくなって

(仕事の)プレッシャーとか、ストレスとかで。だんだんそれを乗り切って、自信もついてきたし落ちついてきたし。そういうのがやっぱり大きいのかなという気がしますね。

経済的な理由も大きいかなという気はしている

理想的には5歳ぐらい離れていたほうがいいんだろうけど。でも2歳なら十分なような気もするし、間をとって3年ぐらいでいいんじゃない？

■子どもを持つことについての夫婦での話し合い

今の子どもができる少し前ぐらいまでは、もう子どものいない夫婦でいくようなモードに入っていたから……急におれが子どもが欲しいと言い出したので、向こうは戸惑ったというか。

■子育て観

3歳ぐらいまでって大事だと思うんで。その時間をなるべく一緒にいたいなと思っています

僕の希望としては、やっぱり3歳過ぎるまでは専業主婦というか

■育児へのかかわり

大してかかわっていないから。おふろは每晚入れている。

月に最低でも1回は子どもと2人でお留守番して、お母さんは1日どこかに出かけてくるということはやっています。

(育児にもっとかかわりたいですか？との問いに) 時間に余裕があればもっと(子どもと)遊びたい

■家事へのかかわり

平日はたまにふろを洗ったりとか、洗濯物をやったりすることはあるけど、あんまりやってません。

■育児休業について

無給だとちょっと食っていけなくなるから困るけど、(本社の)アメリカ並みに有給で4週

間とかだったらうれしいですね

■ 会社の雰囲気

(同僚で) 赤ちゃんが最近生まれたという人はいるけれども、やっぱりみんな、子どもに会いたくて早く帰るようにはなるかな

女の方は、僕の部下がちょうどおとしの11月まで、8カ月間産休をとっていて、復帰して、去年はフルに1年働いているんだけど、やっぱり6時にオフィスを出て、保育園に迎えに行かなくちゃいけない。それまで夜型だったんだけど、だんだん朝方になってきて。タイムマネジメントがよくなるようになってきて、非常にいい傾向だなと思っております

上司がどんな人かにもよるし、その人自体が例えば産休中もちょっとうちを手伝ってほしいような人なのか(にもよる)

(同僚と) 男も産休をとれたらいいな、とか(話をする)。

うちの会社は抵抗ないんだ

(男性も育休をとれば) 全員じゃないかもしれないけど、半分以上、半分ぐらいはするんじゃないかな。

■ 妻の社会復帰

妻の不安な部分としては、今、子育て自体は素晴らしい仕事とは思っているけれども、子離れというか、子どもが親離れしたときに、自分には何もなくなっちゃうんじゃないかという漠然とした恐怖感があったので。だから自分も勉強しなきゃとか、仕事をしたほうがいいのかとか、そういうことをいろいろと悶々と考えている。

■ 子どもの数について

1人だと、その子ばかりに一生懸命やって、全部こっちに行っちゃうじゃん。あまり集中するのは子どもにとってもつらいだろうし、よくないと思うし。それが分散するという意味では2人以上のほうがいいし。でも2人になると大変さも倍か2乗かになっちゃうんだけど、そういう意味ではこっちが成長する、親が成長する上でいいんじゃないのかなという気はします

(奥さんは) 2人でたくさんと。それは理想は3人、4人かもしれないけど、年齢的にも、自分の子育ての余力的にも、もうあと1人で十分というふうに思っているかもしれない、一人っ子だとマザコンというイメージがついちゃったりとか、そういうのがあるじゃん。

やっぱり兄弟がいたほうがいい

うちの実家なんか、もうおやじのほうは兄弟がいたほうがいいんじゃないかと言っているけど、おふくろのほうは意外なことに、いや、今は男の子でも一人っ子でもいいんじゃないのとかって。

■ 周囲の子どもの数

周りがみんな生んでいる年齢が最近高いから。だから1人で十分っていうところが多い。

■ 子育てのポジティブな面

(子どもの様子に) いやされる。疲れが吹っ飛ぶ部分がある。あと例えば夜泣きしているときとかは、忍耐力じゃないけど、そういうのが鍛えられるような気がする

■ 教育観

いい大学に行って、いい企業に勤めてとかいうのはつままないじゃん。だからそういうのじゃなく、何か手に職があってもいいし、学歴じゃなくて好きなことを伸ばして一生仕事にできるような、そんなふうに育てられたらなど。

■ 妻の教育観

(妻は) 同じ子育てをしている周りのお母さんたちの話を聞いていると、やっぱり公立には行かせられないなと思ってきて、私立に行かせるにはどうしたらいいかという思い始めている

■ 育児環境

あと預かってくれるいい保育園があるというのは大きいよね。社会的なインフラとして。だから、もっとそういう、安くて質のいい保育園が至るところにできるといいね。やっぱり実家が近い人たちがすごくうらやましいよね

■ 男性が育児参加する条件

在宅勤務みたいなのがもっと普及して、一般的にやれるようになったらいいなど。……例えば水曜日だけ在宅とかという形で、そのためのインフラを変えられればありがたいなと

■ 父親の役割

いかに子どもの成長過程において父親との関わりというのが大事かというのは、やはり父親自身ももっと自覚しなくちゃいけないと思うし。

父親に手塩にかけて育てられた子どもというのは、なぜか男の子が多いんだけど、すごく大成するというか。そういった天才が生まれる確率が高いみたいなんで。だからもし、この世の中のお父さんたちが、チチローとか松井父までやれとは言わないけどもう少し頑張ったら、もっとみんなレベルアップするんじゃないかなって。要するに片手落ちなんだよね。お母さんが悪いわけじゃなくて、お母さんしか頑張っていないという、両方がいけない。両方が頑張らなくちゃいけないのに。

■ 理想の子どもがもてない理由

経済的な理由とかももちろんあると思うんだけど、漠然とした不安がみんなあるじゃん。生きていく上で、将来に対する不安がさ。

公立高校で教育費が負担にならないようなレベルで賄えて、質のいい教育を受けられれば。公立高校がとんでもない状態になっているというところで、みんな3人も4人も私立に行かせるわけにはいかないじゃない、経済的に。

■ 行政へ望むこと

やっぱり公立学校をちゃんと再建してほしいですね。・・・・・・・・税金の使い方をもっと教育にシフトしていかないとだめじゃないかなって

子どもを生む家をもっと国がサポートすべきだよ。金をあげなくてもいいから、その分税金の控除をふやすなり、教育手当みたいな形で還元するなりしていかないと

<既婚子あり 6, 36 歳, 長野県中野市, 飲食店店長>

■子どもを持つタイミング

タイミングじゃないですけども、そういうのを失っちゃったのかなあというのもありますし。彼女に、妻に、産婦人科にも行けとは言ってるんですけども、そういうのも高いつて言われますし。なんでできないのかというの、また不思議ですし。

■子どもを持つことについての夫婦での話し合い

(妻も) もう 1 人 2 人は欲しいと言っておりました。今はそんなに (話し合いを) しないですけども、その当時、2~3 年前は。

■ 子育て観

(育児に関わった経験がなかったら) もしかしたら、家庭を顧みず仕事に没頭しちゃうかもしれないですね。

(二人目が生まれた場合、一人目のようには) かかわれないけれども、子どもは、いわば自分の分身です。

■ 育児へのかかわり

結婚後、妻も同業でやっています、子どもが生まれて産休をとって、子どもが 1 歳のときに復活したんですね。そのころはまだ東京だったので 24 時間保育園とか託児所に預けて、お互いやっていたんですよ。だから、自分が見ている回数が、日にちがすごい多かったですね。

奥さんが昼間託児所に預けて、僕が夜、夕方 6 時、7 時ぐらいに終わって託児所迎えに行つて。

例えばお休みのときには一日じゅう子どもと一緒にいて、そういうことをやっていると、すごい好きになってきちゃって。

大変でしたね。それを 1 年半ぐらいやったんですけども大変で、もうどうにもならないとって、お願いだからとって彼女に仕事をやめてもらって、そしたら何かのタイミングで長野に転勤になってしまった。

(妻は育児休業後) 復帰してから自分も結構ジレンマがあったと思いますし、子育てできないとか。あとはなんていうんでしょう、集中できなかったの、僕も仕事の面では追いついていかなかった。

彼女の給料の何十万円はほとんどが託児代だったので、やっても体力ばかりで意味